

第16回

# 有床総合病院 精神科フォーラム

●テーマ

有床総合病院精神科の多様性

平成25年7月6日(土) 10:10～17:00

大阪市立総合医療センター“さくらホール・さくらルーム”(大阪市都島区)

実行委員長：古塚 大介(大阪市立総合医療センター 精神神経科)

プログラム(予定)

全体セッションI さくらホール  
10:30～12:10

「総合病院精神科における  
児童青年期精神科医療の  
現状とこれから」

独立した病棟の活用～現状とこれから～

飯田 信也(大阪市立総合医療センター 児童青年精神科)

大阪市立大学病院における児童精神科医療の現状と課題

宮脇 大(大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学)

高知医療センター児童精神科開設後1年を振り返って

泉本 雄司(高知医療センター 児童精神科)

分科会I(医師) さくらルーム  
13:30～15:10

「医療の専門性を求めて」

性同一性障害に対する包括的治療の中での  
精神科治療について

康 純(大阪医科大学 総合医学講座 神経精神医学教室)

強迫性障害の病態と治療

林田 和久(兵庫医科大学 精神科神経科学)

治療抵抗性の薬物療法

加藤 正樹(関西医科大学 精神神経科)

分科会II(チーム医療) さくらホール  
13:30～15:10

「総合病院における  
多職種活動」

精神科病棟看護師によるリエゾン活動の報告

佐々木 将太(大阪市立総合医療センター 看護部 すみれ8階病棟)

臨床心理士の働きと多職種との連携

高瀬 みき・伊藤 有里(大阪赤十字病院 精神神経科)

救急医療現場におけるPSWの活動

～自殺未遂者支援を中心に～

山田 妃沙子(関西医科大学附属滝井病院 精神神経科)

全体セッションII さくらホール  
15:10～16:50

「精神科救急・  
合併症入院料を考える」

当施設における精神科救急・

合併症入院料病棟の2年間

池下 克実(奈良県立医科大学 精神医学講座)

精神科救急・合併症入院料によって

当センター精神科はどう変わったか?

松永 秀典(大阪府立急性期・総合医療センター 精神科)

当院における救急・合併症入院料算定取得への過程

甲斐 利弘(大阪市立総合医療センター 精神神経科)

詳細については、日本総合病院精神医学会ホームページ <http://psy.umin.ac.jp/> をご覧ください。

今年度は事前の参加登録は行わず、全て当日登録となります。ご了承くださいませようお願い申し上げます。

【主催】日本総合病院精神医学会／有床総合病院精神科委員会

【第16回有床総合病院精神科フォーラム 事務局】

大阪市立総合医療センター 精神神経科  
〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22

【第16回有床総合病院精神科フォーラム 運営事務局】

株式会社コンベンション リンケージ内  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F  
TEL:06-6377-2188 / FAX:06-6377-2075 E-mail:yusho\_forum2013@c-linkage.co.jp

# 第 16 回有床総合病院精神科フォーラム

## 「有床総合病院精神科の多様性」

### <開催概要>

主 催	日本総合病院精神医学会 有床総合病院精神科委員会
実行委員長	古塚 大介 (大阪市立総合医療センター 精神神経科)
日 時	平成 25 年 7 月 6 日 (土) 10:10~17:00
会 場	大阪市立総合医療センター さくらホール・さくらルーム 〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22 TEL : 06-6929-1221 FAX : 06-6929-1090
会 費	医師 3,000 円、医師以外 2,000 円
意見交換会	会場 : 大阪リバーサイドホテル 日時 : 平成 25 年 7 月 6 日 (土) 17:30~19:30 (予定) 会費 : 医師 3,000 円、医師以外 2,000 円

### <プログラム (予定) >

午前の部	
10 : 10~10 : 30	I.開会挨拶
さくらホール	岸 廣成 (大阪市立総合医療センター 病院長) 古塚大介 (第 16 回有床総合病院精神科フォーラム実行委員長) 早川達郎 (有床総合病院精神科委員会委員長) 黒木宣夫 (日本総合病院精神医学会理事長)
10 : 30~12 : 10	II.全体セッション 1 「総合病院精神科における児童青年期精神科医療の現状とこれから」
さくらホール	座長 豊永 公司 (大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 部長) 吉田 佳郎 (大阪赤十字病院 精神神経科 部長) 1 独立した病棟の活用 ~現状とこれから~ 飯田 信也 (大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 副部長) 2 大阪市立大学病院における児童精神科医療の現状と課題 宮脇 大 (大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 講師) 3 高知医療センター児童精神科開設後 1 年を振り返って 泉本 雄司 (高知医療センター 児童精神科 科長)
12 : 10~13 : 30	昼休み
	※休憩スペースが 4 階にあります。

午後の部

13:30~15:10

Ⅲ.分科会

※分科会 1,2 は 2 会場に分かれ同時並行で行います。

さくらルーム

分科会 1. 医師「医療の専門性を求めて」

座長 山岸 洋 (北野病院 神経精神科 部長)

座長 井上 幸紀 (大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 教授)

1 性同一性障害に対する包括的治療の中での精神科治療について

康 純 (大阪医科大学 総合医学講座 神経精神医学教室 准教授)

2 強迫性障害の病態と治療

林田 和久 (兵庫医科大学 精神科神経科学 講師)

3 治療抵抗性の薬物療法

加藤 正樹 (関西医科大学 精神神経科 講師)

さくらホール

分科会 2. チーム医療「総合病院における多職種の活動」

座長 久野 節子 (大阪市立総合医療センター 児童青年精神科 保健副主幹)

平 則男 (大阪精神保健福祉士協会 会長)

1 精神科病棟看護師によるリエゾン活動の報告

佐々木 将太 (大阪市立総合医療センター 看護部 すみれ8階病棟、看護師)

2 臨床心理士の働きと多職種との連携

高瀬 みき、伊藤 有里 (大阪赤十字病院 精神神経科、臨床心理士)

3 救急医療現場における PSW の活動～自殺未遂者支援を中心に～

山田 妃沙子 (関西医科大学附属滝井病院 精神神経科、精神保健福祉士)

15:10~16:50

Ⅳ.全体セッション2「精神科救急・合併症入院料を考える」

さくらホール

座長 古塚 大介 (大阪市立総合医療センター 精神神経科 部長)

工藤 喬 (大阪大学保健センター 教授)

1 当施設における精神科救急・合併症入院料病棟の2年間

池下 克実 (奈良県立医科大学 精神医学講座 助教)

2 精神科救急・合併症入院料によって当センター精神科はどう変わったか?

松永 秀典 (大阪府立急性期・総合医療センター 精神科 主任部長)

3 当院における救急・合併症入院料算定取得への過程

甲斐 利弘 (大阪市立総合医療センター 精神神経科 副部長)

16:50~17:00

V. 閉会挨拶

さくらホール

佐藤茂樹 (学会監事、赤十字病院グループ)

17:30~19:30

Ⅵ.意見交換会 大阪リバーサイドホテルにて

## 【ご案内】

※詳細につきましては、日本総合病院精神医学会のホームページ <http://psy.umin.ac.jp/> にアクセスして、ご確認下さい。

フォーラム参加費	医師 3,000 円、医師以外 2,000 円
会場へのアクセス	JR 大阪環状線「桜ノ宮」駅下車、北へ約 7 分 地下鉄谷町線「都島」駅下車 2 番出口、西へ約 3 分
意見交換会	日時：平成 25 年 7 月 6 日（土）17:30～19:30 会場：大阪リバーサイドホテル 〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町 5 丁目 12-30 TEL:06-6928- 3251 / TEL:06-6928- 3260 HP：http://www.osaka-riverside-hotel.co.jp/ 会費：医師 3,000 円、医師以外 2,000 円
単位認定について	本フォーラム参加者は下記の単位が取得できます。 ☆本学会 専門医・指導医更新単位：10 単位 (参加証または領収書を保管して下さい) ☆精神神経学会 専門医更新単位：40～60 単位予定 (専門医ポイントカードの提示が必要)
参加登録方法	<u>今年度は事前登録を行わず、全て当日登録となります。</u> <u>ご了承いただきますようお願い申し上げます。</u>
事務局	第 16 回有床総合病院精神科フォーラム 事務局 大阪市立総合医療センター 精神神経科 〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22
お問い合わせ先	第 16 回有床総合病院精神科フォーラム 運営事務局 株式会社コンベンション リンケージ内 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F TEL:06-6377-2188 / FAX:06-6377-2075 E-mail:yusho_forum2013@c-linkage.co.jp